



## 17号の主な内容

- 新春対談……………2
- 新年のご挨拶……………3
- 事業部会……………3
- 企業訪問
  - 筑波ジャンボリーゴルフ……………4
- 剪定・草刈班がゆく……………5
- 研修視察に参加して……………5
- 筑波研究学園都市探訪
  - 防災科学技術研究所……………6
- 筑波山地域ジオパーク
  - 「日本ジオパーク」認定! ……7
- 子どものいない公園……………8
- 「コカリナ」をご存知ですか? ……8



## 〈新春対談〉

## 地域や市民に

## 役立つシルバー

## 対談

## 五十嵐立青市長・橋本憲明理事長

〈橋本理事長〉 新年あけましておめでとうございます。日頃から多大なご協力並びにご支援を賜りまして、厚くお礼申し上げます。

平成28年度の重点目標は、①経営の健全化、②役職員の意識強化、③後継者の育成と適正就業の推進、④中長期計画の策定及び検証、⑤安全就業の強化及び推進です。

財政基盤の強化は健全で安定的な運営のために、早期に達成したい課題です。平成28年度上半期の事業実績は前年同期比で収入金額（170百万円）が98%、受注割合は民間48%、一般家庭26%、公共23%、独自事業3%と全体的にはほぼ横ばいで推移しています。

独自事業のうち平成26年12月にスタートした子育て支援事業は徐々にではありますが確実に一時預かり人数も増えてきています。またリサイクル自転車事業は市民にすっかり定着しており、真剣に取り組む作業ぶりが評価さ

れていると思います。今後取り組む重要課題は、剪定・草刈り要員の安定的確保、技術の向上、安全の徹底です。市民に喜んでいただけるよう一層気を引き締めて行かねばと感じています。

〈五十嵐市長〉 市の管理も場所によっては行き届かないところがありますが、皆さんの丁寧な仕事は市民の方もよく知っていると思います。それが浸透して地域で有難がられていて、素晴らしい仕事をしてくださっていること、心からの敬意と感謝を表すところで



五十嵐市長（右）と橋本理事長（中央）、梅田副理事長（左）

す。活躍する場所があることで、皆さん、やりがいも出ますし生きがいにもつながるでしょう。

さきほどお聞きしたことです。剪定の厳しい技術検定があるなどしっかりとした技術評価の仕組みがあるから、仕事がこれだけ市民に感謝されている事がよくわかりました。

後継者不足というお話しがありましたが、広報や他の場面で人材募集などお手伝いできるところは全面的にさせていただきますと思っています。

子育て支援の一時預かりのニーズが本当に高まっていますから、おばあちゃん（シルバー女性会員）の優しい対応が好評で、ホッとするような場所があるということは子供にとっても本当にプラスになります。

これからも皆様にご活躍いただいて「つくばのシルバーは日本一だぞ」と、そんな評価につながっていけばと思っています。

〈橋本理事長〉 本日はお褒めの言葉と貴重なご意見をいただきました。まことにありがとうございます。今後とも市民の皆様喜んでいただき、お役に立てるようなシルバー人材センターでありたいと思います。

## 〈新年のご挨拶〉

新年明けましておめでとうござい  
ます。皆様におかれましては健やかに新  
年を迎えられたことと思います。理事  
長を拝命して早くも2度目の新年にな  
りました。つくば市と近隣の地域は昨  
年、大きな災害もなく無事に過ごせま  
したが、今年も何事も無いようにと  
願っています。センターの事業におき  
ましては仕事をご依頼された方々にい  
くらかでもお役に立つことが出来たと  
思います。本年におきましても総力  
をあげ努力して参ります。

私たちはいまだに気持ちは若く、ま  
だまだ何でもできるぞとの自負心と色  
いろなことにチャレンジしてゆく気概  
は持っています。併せて心に「ゆとり」  
を持つことが重要であると思い、これ  
をテーマに事業に取り組んで参ります。  
センターは「安全第一」を標語に掲  
げておりますが、皆様におかれまして  
も本年も安全に配慮され、健康で充実  
した年でありますようお願い申し上げ  
ます。

平成29年1月吉日

つくば市シルバー人材センター

理事長 橋本憲明

## 〈謹賀新年〉

理事	橋本 憲明
副理事長	梅田 三郎
理事	大久保勝弘
理事	金子 和雄
理事	黒澤 弘志
理事	高野 島子
理事	福田 征男
理事	山内 衛
理事	皆見 邦子
理事	岩田 光夫
理事	宇都宮 章
理事	青木 亮司
理事	藤田美代子
監事	中島 肇
監事	遠藤 忠
事務局長	岡野 好雄
事務局職員一同	



## センター事業の全てに関わる 事業部会

今回紹介するのは事業部会です。メ  
ンバー構成は理事5名・会員2名です。  
10月13日部会があり取材させていた  
だきました。当部会はずべての事業に  
関わっており、活発な発議、討議がな  
されていきました。特に剪定・草刈り、襖・  
障子貼りに携わる技術者が不足するで  
あることが喫緊課題になってきてい  
て、その対策や対応などが討議されて  
いました。

全事業を担当別けし、計画の進捗状  
況を確認、事業が直面している様々な  
問題点を洗い出し、今後の事業展望・  
展開を如何に  
進めていくか  
を決定づけて  
いく最重要な  
部会です。今  
後も、「忌憚  
なく、率直な  
意見を述べ合  
い討議する部  
会」を続けて  
いただきたい  
と思います。



討議の真っ最中です。

〈企業訪問〉

筑波ジャンボリーゴルフ

〜親睦の場、  
情報交換の場を提供

日頃の健康を維持するひとつに、手軽に打ちっぱなしのゴルフ練習場に出掛ける人も大勢いることでしょう。センターの会員が就業の機会をいただきました。あるゴルフ練習場を訪ねてみました。名称は「筑波ジャンボリーゴルフ」です。ここは株式会社前川レジヤーステムつくば営業所が経営している打ちっぱなしゴルフ練習場です。取材では所長の渡部智仁さんに大変お世話に



所長の渡部さんと、フロント・スタッフの湯澤さん、斉藤さん。



一心不乱、集中・集中……………



天然芝のアプローチ練習場



球越防止ネットが見える、正面全景

なりました。

昭和57年に開場し今年で34年になります。100台ほどが駐車するスペースがあり、訪問した日は小春日和の暖かい日で、ひっきりなしにお客さんが来ていました。玄関正面に受付カウンターがあり、奥にはゆったりできる喫茶・軽食コーナーがあります。このコーナーは練習を終え、お客様皆の親睦と情報交換の場として自由に利用されており、ここで取材させていただきました。練習場の特徴としては、奥も手前と同じ幅の長方形で非常に広々としている。奥行230ヤード(約190メートル)、横120メートルもあります。

〈案内〉

〒300-1231  
茨城県牛久市猪子町 941-1  
TEL 029-874-2225  
FAX 029-874-2226  
URL <http://www.jamboreegolf.com>

アクセス：  
(自動車) 常磐道谷田部ICから約15分または圏央道(首都圏中央連絡自動車道)つくば牛久ICから約10分

この開放感が半端ではありません。1階と2階、合計96打席があります。また外には、天然芝の3ホールのアプローチ練習場もあります。スタッフは18名で、5〜6名/日のシフト体制で来場者や他の業務に対応しています。

1日に使われる球数は何と3万球〜4万球にもなるそうです。それを毎日、お客様が来場する前、早朝に回収・洗浄し、綺麗になったボールを貸し球としていきます。

場所は、国道408号線に面しており近くには牛久愛和総合病院があり、牛久からつくば方面の左側にあります。

所長の渡部さんが話されています。「ゴルフは性別、年齢を問わず誰でもできる運動です。和気あいあいな楽しい練習場を今後も提供してゆきたい。」と。

長寿社会に突入したこの時代、いかに健康を保ちながら生活するかです。今後も、適度な運動をする場所、素晴らしい出会いの場所、情報交換の場所としてご提供いただきたいと思います。



全部、回収を終えました。お疲れさまでした。早朝から作業に当たっていたシルバーの会員・松本さんです。

## 剪定・草刈班がゆく すただいま、希望者 募集中です!

11月今鹿島にある皆畑公園において28年度「草刈技能実技講習会」を開催しました。講習・実技の中心は「安全第一」です。危険を伴う作業でもあるので、毎年、安全講習を兼ねた実技講習会を実施しています。あわせて大型のパロネス（自走式草刈機）の安全な取り扱いを希望者に実施されました。

剪定・草刈班に初めて入った作業者には、安全な機械の取り扱い・作業の服装・作業の仕方を指導しますが、何ごとにも「安全」が優先されます。

ただいま、「剪定・草刈作業」をやってみたいという人を募集しています。興味がある現会員は、事務局に気軽に問合せしてください。お待ちしております。



草刈講習会、みんな真剣な表情です。



広い場所の高い草もスイスイ刈り取れる大型のパロネス

## 〈研修視察に参加して〉

筑波地区 地区長 杉山源二

晩秋11月つくば市高齢者労働能力活用事業の研修視察に地区会員21名が参加しました。今回の目的は水戸市シルバー人材センターが運営する水戸市にある「子育て支援多世代交流センター」が行っている各種サービスについての研修視察です。交流センターでこれらの説明を受けた後、質疑応答があり、高齢者が参加する「一時預かり事業」のサービスに当方と重ね合わせてみる等、多いに参考となりました。

あわせて参加者が楽しみにしていた知事がいる県庁の視察、偕楽園の散策、そして帰りに茨城空港に着いたときは日が北条大池体育館に着いたときは日ごととつぷりと暮れていました。県庁で知事と偶然に出会ったり、思い出も多い研修視察となりました。



ちょっとお尋ねしますが・・・質疑応答の時間です。

## 〈筑波研究学園都市探訪〉 防災科学技術研究所 災害に強い社会の実現

災害は突然やってくる！

一九九五年阪神淡路大地震、二〇〇一年東日本大震災をはじめ、二〇〇二年関東北部の竜巻、二〇一五年関東・東北豪雨など、さらに二〇一六年に入ってから四月熊本地震、十月阿蘇山噴火や鳥取県中部地震と、次々に起きる多様な災害のなかで、わたしたちの命や財産を守るためには、さまざまな情報や知識が必要とされてきました。

災害を予測し防災、減災、復興に資



日本海溝海底地震津波観測網 (S-net)



E-ディフェンス (実大三次元震動破壊施設)・三木市

〈防災科学技術研究所〉

本所：〒305-0006

茨城県つくば市天王台 3-1

Tel：029-851-1611

Fax：029-851-3246

E-mai：toiawase@bosai.go.jp

URL：http://www.bosai.go.jp

する重要な研究が防災科学技術であり、中心的役割を果たしているのがつくば市内にある〈国立研究開発法人防災科学技術研究所〉(防災科研)です。

一九六三年国立防災科学技術センター(東京)として発足し、一九七〇年つくば市に開設された大型耐震実験施設(筑波研究学園都市施設第一号)により、つくば市との深いつながりがつくられ、平成二十七年には現在の国立研究開発法人として新たな一歩を歩み始めました。TVなどで見聞きされた読者も多いと思いますが、今年の熊本地震や鳥取地震でも、災害発生後まもなく、被害調査と復興のデータ作成のために、防災科研から専門家の派遣

が報道されました。

防災科研の活動は非常に幅広い分野にわたり、防災科学技術水準の向上により、「災害に強い社会の実現」を基本目的として、地震分野、火山分野、気象分野、雪水分野、減災実験分野、社会防災分野など、幅広い分野での防災科学技術に関する基礎研究および基盤的研究開発を進めていることです。とくに基盤的研究開発では、防災・減災に関して多数の部門の協力を得ながら、あらゆる事を研究対象として行っています。

多岐にわたる研究活動分野のうち、主な活動部門をいくつかあげてみましょう。〈全国を覆う地震観測網〉三



大型降雨実験施設・つくば市



平成28年熊本地震における現地対策本部の様子



平成28年度熊本地震クライシスレスポンスサイト

種類の地震観測網により、全国で約千九百ヶ所に観測拠点を運用し、微小な地震まで観測し、それらがインターネットで公開されています。〈日本海溝海底地震津波観測網（S-net）〉東日本沖の海底に多数設置した観測システムにより、リアルタイム・二十四時間で観測データを集めています。〈緊急地震速報気象庁への貢献〉防災科研が開発した即時に震源を推定する方法が利用されています。〈XバンドMPレーダーの開発〉ゲリラ豪雨の監視を行っています。〈基盤的火山観測網V-net〉全国十六火山に設置され

た基盤的観測網でリアルタイムな観測を行っています。

防災科研の主な研究施設として、〈Eーディフェンス〉世界最大の実大三次元震動破壊実験施設（兵庫県三木市）、〈大型耐震実験施設〉構造物の耐震安全性実験施設（茨城県つくば市）、〈大型降雨実験施設〉毎時300mmの降雨を再現（茨城県つくば市）、〈雪氷防災実験棟〉世界最大規模の降雪実験施設（山形県新庄市）、などが設置されています。

防災・減災の意義をもう一度考えてみませんか。  
（文責山内）

## 〈筑波山地域ジオパーク〉 「日本ジオパーク」認定！

平成二十八年九月九日、日本ジオパーク委員会によって、本地域が日本ジオパークに認定されました。五年前の推進協議会発足後、六つの市、住民や市民団体等、多くの支援による成果が評価されたのではないのでしょうか。これからは筑波山地域の魅力を外に向けてどう発信し続けるのか、私たち市民が関心をもち、協力して育てていく必要があります。

〈筑波山地域ジオパーク〉について。つくば市ジオパーク推進室にお話をうかがいました。ジオパークとは、いわば大地の遺産に親しむための「自然公園」のことです。筑波山地域ジオパークは、地域内を山（筑波・鶏足山塊）のゾーン、湖（霞ヶ浦沿岸）のゾーンと両者をつなぐ平野（関東平野）のゾーンの三つに分けて、それらの価値と見どころを七つのジオストーリーと二十六のジオサイトで紹介し、地形・地質から歴史・文化や産業まで、本地域のさまざまな大地の遺産を興味のある分野ごとに楽しめるようになっていきます。つくば市を含む筑波山周辺の六市で

構成される筑波山地域は、こうした大地の遺産を活用した「みんなに愛される地域づくり」を目指した活動を展開しているところです。大地の遺産の価値を伝え（教育）、その保護や伝承に取り組むとともに（保全）、それらを地域資源として活用する（観光）すること、広域連携のもとでの地域経済の活性化につなげることが目標です。



(ジオストーリー) 筑波山



(ジオストーリー) 筑波山南麓の梅林

(問い合わせ)

〈筑波山地域ジオパーク推進協議会

事務局本部

(つくば市ジオパーク推進室内))

〒 305-8555

茨城県つくば市研究学園一丁目 1 番地 1

電話：029-883-1111 (代表)

メール：geo298@info.tsukuba.ibaraki.jp

〈筑波山地域ジオパーク・サポーターズクラブ〉

サポーターズクラブ会員の入会、

定期発信

<http://www.tsukuba-geopark.jp/>

〈筑波山地域協議会 Facebook〉

登録は「いいね！」ボタンをクリック：

<https://www.facebook.com/Tsukubageopark/>

この構想をもっと知りたい方には、推進協議会のホームページ閲覧やサポーターズクラブ入会をお勧めします。

(文責 山内衛)

## 子どものいない公園

総務部会 福田征男

私は、近所の公園への散歩を日課にしているが、昼間なのに子どもの遊ぶ姿を見かけない。心身ともに大きく成長する時期、仲間たちと思い切り遊ぶ経験は貴重だ。しかし、最近、公園で遊ぶ子どもの声がうるさいとの苦情が出るという。子どもが子どもらしくのびのびと振舞えないこのご時世、その子たちを育てる親の閉塞感を思うと切なくなる。地域住民がおおらかな気持ちで子どもたちを見守る風景は、もはや過去のものだろうか。

## 付記

表紙の写真は筑波地方の特産「福来みかん」（ふくれみかん）です。筑波山の麓（ふもと）で撮影しました。直径3cm位で、柑橘類の中で唯一日本原産と言われています。

## 「オカリナ」をご存知ですか？

広報部会 杉本信子

小野川交流センターで、初めてオカリナに出会いました。楽器の一種でこの演奏会や練習を15年前から続けています。和気あいあい楽しそうに演奏しているところを覗かせていただきました。オカリナに似ていて、美しく澄んだ音色が響き合い、優しい豊かな音の世界が楽しめます。もとは東欧の民族楽器で、木で出来た小さな笛を首に下げ、どこにでも持っていける手軽さがあります。

震災で倒れた陸前高田市の松の木、常総市の水害で倒れたいちよう、いちいの木、国立競技場に植えてあった木からも沢山できています。小学生から吹けるので、あなたも挑戦してみませんか？

オカリナの写真は表紙の左下に掲載しました。

## ◆きずな原稿募集

「きずな」の原稿を随時募集しています。就業先での出来事や体験談、身近な出来事等々、お待ちしております。些少ではありますが執筆謝礼をご用意いたします。